第 2016-02 号

恵みと真理のニュース

2016 年 1 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 強い信仰と教師の職分を与えて下さり、熱心に支え祈って 18 年間の腎臓炎を癒してくださった神様に感謝します

私は1987年ブチョンで生まれ両親と叔父と叔母、親戚の姉と兄から愛をたくさん受けて7歳からアンヤンで引越しして今まで住んでいます。ブチョンで幼稚園に通うときに友達に導かれ始めて教会に行きました。幼かったから遊びところだと思いました。友達が“お金では行けない”という賛美を歌って先生が下さるあめをためる姿を見て“あー、教会は子供達が歌を上手に歌うとあめをくれる所だ”と思いました。

小学校3年生の時、私をかわいがっていた祖母が亡くなった日、教会の執事であった3番目の叔母が慰めて言ってくれました。“ヘジン、悲しないでね、今、祖母はイエス様がいる所に行ったのでヘジンちゃんもイエス様を信じると後でそこに行ったら祖母に会えるよ。”と言いました。そして、その日、私が寝る時に賛美歌を歌いながら寝かせてくださいました。今も私が一番好きでよく歌ってくださった賛美歌234番“私の愛の本（聖書）”賛美です。

その後、中学生のときから教会に通い始め教会を離れさ世でさ迷った生活をしましたが、大学2年生のとき仲良い友達に導かれ恵みと真理教会に行き青年奉仕宣教会で属して熱心に信仰生活をするようになりました。そして、教会学校の幼年部で子供達を見守る教師として奉仕を始めて今日まで至りました。

初めは神様に対する信仰と教師として使命が足りなくて担当伝導士の心を苦しくさせました。しかし、伝導士の指導と先生達から励まされて教師として資質を育てて信仰生活が発展し教会で奉仕する神霊なやりがいと楽しむを知るようになりました。教会でよく来なかった子供達の家に訪問した事が今も忘れないような感動を受けました。“行ってどんな聖書の御言葉で話したら良いのか、どのように祈るか、親が反対したらどうしようと迷いましたが神様に祈ってから大胆になって訪問に行くと親から感謝の挨拶と子どもが教会に必ず来ると約束もして戻って来ました。とても心がいっぱいなり教師の使命が真の誇らしいでした。

私は小学校4年生の時、健康検診を受けて小便検査で珍しい腎臓炎が発見されその時から18年間治療を受けました。初めは4年6ヶ月ことに定期的に血液検査と小便検査を受け薬を飲みました。続けて医師から多様な処方と治療を受けました。しかし、その結果はあまり良くなくて大人になっても相変わらず健康はあまりよくなかったです。始めは教会で幼年部で奉仕をすると思って伝導士と相談をする時に伝道士に私の病気を話しました。すると、伝導士は続けて病院治療を受けながら全能なる治療の神様に祈ろうとしました。その時、私は神様を信じる信仰が弱くて“韓国の一番有名な医師も治療できないのに目で見えないイエス様がどうやって私の腎臓を癒すのかと否定的な考えと一方ではいくら、病院に行ってもなかなか治らないからこれからイエス様を信じてみようと思いました。目が見えないバルティマイも目が見えるように治してくださった！と信仰と希望が出来ました。

そのような疑い半分信じる心半分で祈りましたが私のため祈ってくれる教役者達と先生の確実な信仰と愛で感動を受けて私も信仰を持って切に神様を仰ぎながら祈り始めました。すると驚くほど蛋白尿の数値が少しづつ落ちましはじめました。4年　前から朝ことに飲んでいた薬を飲まなくなり3年前から6ヶ月ことに病院に行って治療も受けたのを1年に一度だけ行くようになりました。

そして、2014年12月ある日でした。その日も以前のような治療を受けるため病院に行ったら担当医師がすべての検査結果を何回も見て確認したら　“おめでとうございます。これから来なくても良いです。”と言われました。その話を聞いた瞬間私の口からハレルヤ！と言いました。嬉しいかぎりでした。神様が私の病気も治療してくださいました。神様は生きておられます。神様は全能なるです。

享年18年間腎臓炎で苦労したが治されて子供の時にはこの病気が早く治る健康な私の姿を想像しましたが時間が経ってもなかなか治らなくて否定的な考えをしました。しかし、創造主であり救い主である神様に対する信仰を持つようになって聖霊に導かれ従順して教師の使命を忠実に担えて再び健康な姿を夢見ながら祈り始めて今は本当に夢のような状況になりました。そしてこれから主の中で幸せな日々を送っています。医師から一回悪くなった腎臓はまた悪くなるので特に渦味で食べるように強調しました。医師が頼んだこともあるし神様が癒してくださった私の体をよく健康管理し神様を支えるため頑張ります。　この証を書いて今まで教会学校で共にした子供達の顔が浮びます。信仰も弱くて体も弱かった私を従って耳を傾けてくれた子度たちにありがたいです。私に教師の職分と使命を下さった神様に感謝し、これからいつも真面目で忠誠する主に用いられる教師となるように念押しをします。今まで私に多く愛を与えて下さる神様に知恵が足りない時、弱い時、疲れる時いつも私に生きる知恵と能力を下さる事を信じます。

幼い魂を愛する心を与えて下さり主のように正しく清い生活するようにに祈ります。そして、教会学校で奉仕する時間から今日この時間まで私のため祈って励ましてくださった教会学校の全ての方々に感謝をします。神様に全ての栄光を捧げます。

［信仰コラム］ 聖なる熱心とビジョンと消費

”...主イエス.キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての人々と共に、キリスト.イエスにあってきよめられ、聖徒として召されたかたがたへ...”（コリントへの手紙一１：１～３）

聖徒は”神様によって区別され神様のために区別された人”なので聖なる生活をしなければなりません。聖なる生活とは今までの生活態度や方法を捨てて行動するのではなく日常の事事が聖なる事事になるようにすることです。普通の事が聖なる事になるようにすることに関する理解のために熱心とビジョンと消費に関して調べてみましょう。

第一は、聖なる熱心について調べてみます。
イエス様はタラントの比喩で熱心に働く人と怠ける人に対して神様がどのように扱わられるのかを教訓なさいました。私達に与えられた全てのことが神様が与えてくださったタラントです。私達にある全ての所有物と能力がタラントであり年月もタラントです。聖徒達は自分が主の僕であるという認識を持って全てのことを主が任せてくださったことに扱い熱心に働くべきです。主に仕える心で熱心に働くべきです。このような熱心は普通の熱心とは区別された”聖なる熱心”です。

第二は、聖なるビジョンについて調べてみます。
”ビジョン”という言葉は”見渡す、見通す”あるいは”理想で描く未来の姿”という意味で使われています。聖徒とは神様が与えてくださった”ビジョン”を持って生きていく人だと言うことができます。このようなビジョンを”聖なるビジョン”といいます。イエス様がこの世に御越しになり購いを完遂し昇天なさった後に生きている聖徒達はイエス様の再臨と聖徒の復活と最後の審判、そして天国に対して掲示されたお言葉による燦爛なビジョンを持つようになりました。以外にも、聖徒達は様々な聖なるビジョンを持ちなければなりません。全ての聖徒が共通に持つべきの聖なるビジョンは福音を広々く述べ伝えるビジョンです。そして、個人と家庭と社会生活で叶えようとする様々ビジョンを所有すべきです。誰しも持つ普通のビジョンであるが聖徒はそれを聖なるビジョンにすべきです。神様は私達が聖なるビジョンを持って行ったことだけを認めてくださいます。神様の思い光栄を度外視して人本主義に行ったことは何の価値も意味もありません。

第三は、聖なる消費について調べてみます。
人は一生の間に数多くのことを獲得してまた、数多くのことを消費しながら生きていきます。聖徒達はこのような消費が”聖なる消費”になるようにすべきです。新約聖書の福音書を見ると”聖なる消費”をした特別な話が記録されています。イエス様が弟子達にお話しなさっている時にマリアが高価の香油が入っている石膏のつぼを持ってきてイエス様の足に注ぎかけて自分の髪の毛でイエス様の足を拭いました。その時、イスカリオテのユダと弟子達がマリアの行いを責めました。しかし、イエス様はむしろマリアを称賛なさいました。主のために、神様を礼拝して福音を述べ伝えキリストの体である教会のために消費することに無駄使いという言葉を使うのは適当ではありません。マリアは兄弟のラザロを生き返らせてくださったイエス様にどのように感謝を表現するかを考えたすえに自分の最も高価な財産であうナード香油が入っている石膏のつぼを破りイエス様の足に注げかけて髪の毛で拭おうと決断したのです。

私達が神様を礼拝して福音を述べ伝え聖徒を仕えるために消費することを神様を喜ばせます。私達が神様に捧げることは財物だけではありません。時間、苦労、才能、生命までです。神様に捧げるということが負担ではなく喜びと幸福になる人は神様から受ける愛と恵みが何であるかを誠に分かっている聖徒です。機会とは常にあるのではありません。この世に留る間に”聖なる消費”をする聖徒にならなければなりません。

聖徒は”キリスト.イエスにあってきよめられ、聖徒として召されたかたがた”であります。聖なる生活をしなければなりません。普通の事が聖なる事になるようにすることが聖徒の知恵です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

憎悪を治める秘訣

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人々は自分が居住する家の戸閉まりを徹底的にします。 何故ならばそれによって発生する被害を憂慮するからです。 ところで人々は概して自分の心取り締まりは疎かにするきらいがあります。 心取り締まりをなおざりにするので発生する損傷と被害は戸閉まりを疎かにして着るようになることとは比較になることができないくらいに深刻なことがあります。 だから聖書は “油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。” したし “怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。” と言いました。 今日は “憎悪を治める秘訣”を調べます。 憎悪は大変 憎しみを意味します。

先ず、二つの種類の憎しみに関してよく見ます。

第一、敬虔な憎しみがあります。 これは肯定的性向の憎しみです。
福音を混雑させる行為を憎むことは敬虔な憎しみです。 ヨハネ啓示録 2 章 6 節に見ると “しかし、こういうことはある、あなたはニコライ宗の人々のわざを憎んでおり、わたしもそれを憎んでいる。”と記録されています。 聖書を我田引水ように間違って解釈して信者を惑って基督教会を散らかす似以非異端を神様が憎しみます。 教会一致や宗教和合という名分の下に偶像宗教と巫俗信仰を収容することを神様が憎しみます。 神様が憎むことを憎むことは敬虔な憎しみです。 不義と悪を憎むことは敬虔な憎しみです。 偽りを憎むことは敬虔な憎しみです。
第二、不敬虔した憎しみがあります。 これは否定的な性向の憎しみです。
偏見りで他人を憎むことは不敬虔した憎しみです。 ユダヤ教リーダーがイエス様を憎んでクリスチャンを憎んだのがこんな種類の憎しみでした。 私利私欲を持って他人に助けを要求して断られればその人を憎むのが不敬虔した憎しみです。

次は、否定的性向の憎い感情を抱いていればどんな事ができるかをよく見ます。

第一、憎い感情がずっと積もれば憎悪になって恨みになります。
ちょっとした憎しみの感情を取るに足りなく思って心に留めていればこれが育って憎悪になって恨みになって大きい打撃と損傷をもたらします。
第二、憎しみは心の平和と喜びを消滅させて肉体の健康を喪失させます。
憎しみが心に侵透すれば育って憎悪になって心の平和と喜びそして肉身の健康まで押し出してしまいます。
第三、憎しみは仕返しを計画させて行わせる口火になります。

終りに、憎しみと憎悪を治める方法をよく見ます。

第一、にくい感情が生じないようにする処方三種類を紹介します。

1. 人に度が外れた期待を持ってはいけないです。 期待してから行き違えばさびしくなってさびしい感情が憎いことで変わります。 遠い隣りより近い人に対して名残り惜しい感情を持ちやすい理由は度が外れた期待を持つからです。それでできた憎い感情はめったに解消されないです。 だから人に度が外れた期待を持ってはいけないです。
2. 自分は当然助けを借りなければならないという考えを捨てなければなりません。 助けを要求してから断られれば憎い感情を持つようになる理由はまるで自分が相手に助けを求める権限を持ったように思うからです。
3. 愛と善意で人を対しなければなりません。 相手を選り分けないで愛と善意で対するということは誰にも可能な事ではないです。 ただその対象の幅を広げて行くように力をつくさなければなりません。 “憎い人は加えてくれても憎くて、きれいな人は持って行ってもきれいである。” という言葉があります。 憎い感情が私たち心に入って来ることができないようにするためには愛と善意を持って人を相対するように努力しなければなりません。

第二、イエスキリストが教訓なさったお話を実践しなければなりません。

1. キリストがおっしゃるのを “目には目を、歯には歯を』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。求める者には与え、借りようとする者を断るな。 『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。”（マタイによる福音書, 5 :38～44）としました。 このお言葉の要点は三種類です。 仕返しするなと言うのとちょっとした損害は受け入れなさいというの、そして敵のために祈りなさいというのです。
2. イエスキリストが赦しと係わってこんなお話をしました。 賃金に一万タラント借金を棒引き受けたしもべに百デナリ借金した仲間を苛酷に扱った話です（マタイによる福音書 18:23～34）一タラントは 6 千デナリで 一デナリは当時大人男の一日賃銭に当たります。 理解しやすく説明すれば賃金に 6 千億ウォン借金を棒引き受けた者が帰る途中に自分に百万ウォン借金した仲間に会いました。 彼は自分に借金した仲間を情け赦しなしに監獄に閉じこめました。 これを見た他人が賃金に告発しました。賃金が彼を呼び入れて “『悪い僕、わたしに願ったからこそ、あの負債を全部ゆるしてやったのだ。わたしがあわれんでやったように、あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか』。そして主人は立腹して、負債全部を返してしまうまで、彼を獄吏に引きわたした。” として監獄に閉じこめました。 自分がイエスキリストにあって神様から赦しを受けたことを思えば赦しできない事がないという教訓のお話です。このお話を適用するにおいて誤解してはいけないです。 悪い者の考え悪事を腕を拱くことは赦しではないです。

イエスキリストがおっしゃるのを “あなたがたは、自分で注意していなさい。もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、彼をいさめなさい。そして悔い改めたら、ゆるしてやりなさい。”（ルカによる福音書, 17:3）としました。 悪を見逃すとか同調してはいけなくて悪に屈服してもいけないです。 不義して悪い者分の考え計策に巻きこまれて行くとかその計画的な不義と悪が見ない振りをするのが赦しを意味しないです。むしろその計策が成事になることができないように賢く対処しなければなりません。 一方悔い改めれば許さなければなりません。 他人に被害と傷つかれて自分の欲心をすべて満たした後悔改を告白することは真正な悔改ではないです。 真正な悔改は傷受けた人に勢いよく償いながら赦しを求めるのです。 憎悪は相手先が亡びるまで憎むのです。 憎悪するようになればその対象が悔い改めるのを願わないです。自分に苦痛を与えた人が悔い改めるように願って、悔い改めれば喜んで許すことができる心を持った人はその人自体を憎むのではなくその人の悪い行為を憎むのです。

第三、赦しを施すので生ずる有益な結果を思わなければなりません。

1. 赦しは許す自分に有益です。 憎しみを持てば憎しみの対象に縛られるようになります。それによって多くの時間をむだ使いして楽しさと平安を奪われるようになります。 許せば身と心に治癒する力が増加されることを体験することができます。 許せば勝利感と自信感ができます。
2. 赦しは赦し受ける人を変化させます。 イエス様の弟子はイエス様が逮捕する時に皆が逃げだしました。ペテロは審問を受けるイエス様の面前で人々に自分はイエス様が分からないと言いました。 彼らはイエスキリストが十字架に釘付ける事ができなくたまらないことを見ました。 皆が自責感に押さえ付けられていました。復活したイエス様がこのような弟子に現われました。 そして彼らに赦しを受けたという確信を得るようにしてくださいました。 すると弟子は完全に変化されました。 神様の赦しを体験した彼らは死も辞さなくてイエスキリストの福音を伝えました。
3. 許す心霊には神様の光栄が臨むようになります。 初代エルサレム教会のスデバノが福音を伝えてから逮捕して死刑にあたる定罪を受けて逼迫者が投げる石に当たって死んで行きながらも彼らを許す祈祷をしました。 使徒行伝 7 章 55 節にはスデバノが神様の光栄とイエスキリストが神様の右に立つのを見たと記録されています。 ピリピ人への手紙,4 章 5 節に記録されるのを ″あなたがたの寛容を、みんなの人に示しなさい。主は近い。 ″ と言いました。

4. 赦しを願うことは上手な事であるが赦しを施すことはもっと上手な事です。 そして自分の正しくない行為で他人に憎しみと憎悪を持たせる事が発生しないようにいつも念頭に留めおかなければなりません。 加えた傷と悪い影響は零れた水とようです。 間違った事に対して赦しをあやまることは上手な事です。 赦しをあやまる者に赦しを施したことはもっと上手な事です。 他人を苦しめて有害にさせた人には赦し受ける権限がないが苦痛を受けた者は許す権限を持つようになります。

皆さんは他人に憎しみと憎悪の対象にならないように気を付けて力をつくす一方他人によって皆さんの心の中に起きる憎しみと憎悪を充分に治めながら生きて行くように願いします。 神様が皆さんに身近にいらっしゃいます。